

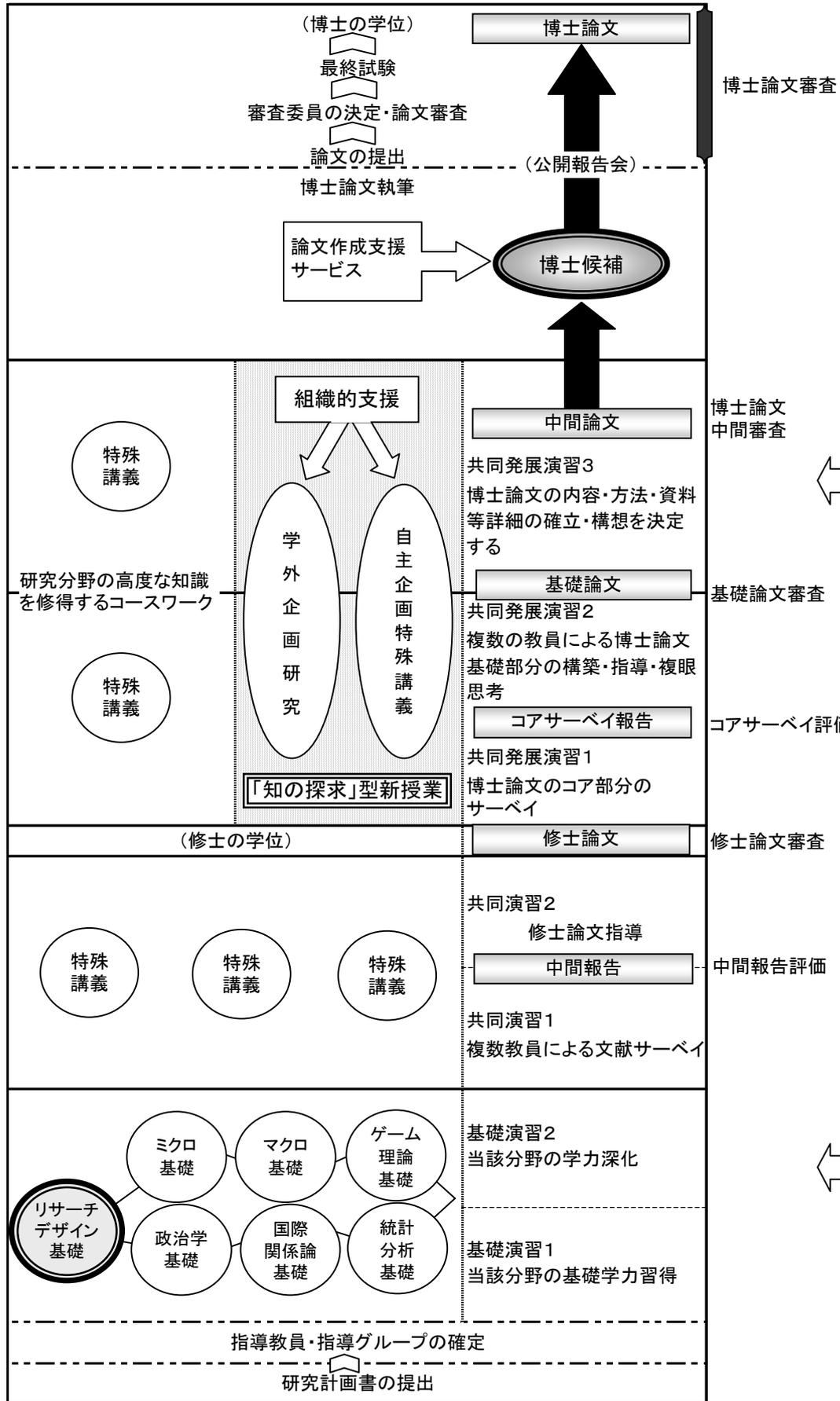
平成17年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 教育プログラム及び審査結果の概要

◇「1.申請分野(系)」～「6.履修プロセスの概念図」:大学からの計画調書(平成17年7月現在)を抜粋

機 関 名	神戸大学	整理番号	a018
1. 申請分野(系)	人 社 系		
2. 教育プログラムの名称	国際水準に挑む次世代政治学研究者養成計画		
3. 関連研究分野(分科) (細目・キーワード)	主なものを左から順番に記入(3つ以内) 政治学、国際関係論		
	主なものを左から順番に記入(5つ以内) 日本政治分析、外交史・国際関係史、安全保障論、政治過程論、比較政治		
4. 研究科・専攻名 及び研究科長名 ([]書きで課程区分を記入、 複数の専攻で申請する場合は、 全ての研究科・専攻を記入)	(主たる研究科・専攻名) 法学研究科・政治学専攻〔博士前期課程〕 法学研究科・政治学専攻〔博士後期課程〕	研究科長(取組代表者)の氏名 瀧澤 栄治	
	(その他関連する研究科・専攻名)		
5. 本事業の全体像			
5-(1) 本事業の大学全体としての位置付け(教育研究活動の充実を図るための支援・措置について)			
<p>神戸大学は教育憲章において「人間性」、「創造性」、「国際性」、「専門性」を培うことを宣言している。とりわけ、人類の未来を見据えた地域に根ざした高度な国際性豊かな教育研究の実現をめざしている。この実現をはかるために、神戸大学は「国際交流推進機構」、「学術研究推進機構」、「大学教育推進機構」を設置し、全学として組織的に取り組んでいる。</p> <p>特に、本年7月、文部科学省の支援を得て、国際交流推進機構の中に「神戸大学国際交流推進本部」を設置し、国際性に富むGLOCALなアプローチを支援する体制を整えた。同本部においては、高度な教育研究の遂行に必要とされる国際連携業務を高いレベルで実現するなど、国際水準への挑戦を全学的に進めてきた。また学術研究推進機構においては、大学院生の萌芽的な研究育成に取り組み、特に、萌芽的な研究や教育革新への試みを支援するために、大学教育推進機構と連携して、間接経費を財源とした「神戸大学教育研究活性化支援経費」を設定し、本学の教育研究の改革を推進している。本専攻は、職業人教育につき、この支援を受けている。</p> <p>今回の本専攻の教育プログラムの実現は、本学において大学院教育の実質化をはかり、研究者養成について国際的な高品質を実現するための先導的モデルとして不可欠であり、戦略的に支援する。</p>			

機 関 名	神戸大学	整理番号	a018
5-(2) これまでの教育研究活動の状況(現在まで行ってきた教育取組について)			
<p>本研究科では、平成4年に法政策専攻を設置、同7年に履修コース制を導入、同12年には大学院重点化に伴い履修コース制を再編整備、さらに同16年に法科大学院を設置するなど、時代の要請にこたえつつ、教育目標に基づく体系的教育を行ってきた。同時に論文審査基準の設定、修業年限・課程修了要件の弾力化、入学試験方法の多様化、カリキュラム整備などの改革を進めてきた。同16年に旧専攻を改組して発足した政治学専攻は、研究者コース・専修コースという学生の履修上明確に区分された二つのコースを有し、現代社会の要請に応えるべく改革を継続している。専修コースについては、ジャーナリズムプログラムの開発など高度な知識により社会で活躍する公共知識人材を育成すべく努めている。研究者コースについては、隣接分野の複数の教員が協力しつつきめ細やかに育成していくという伝統の下、前身の公法専攻・政治社会科学専攻以来、全国レベルで研究教育に活躍できる人材を長期にわたり着実に送り出してきた。</p>			
5-(3) 魅力ある大学院教育への取組・計画(大学院教育の実質化(教育の課程の組織的展開の強化)のための具体的な教育取組及び意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画について)			
<p>本研究科では、従来、大講座制の下、当該あるいは隣接諸分野の複数の教員が協力して、個々の院生のそれぞれの時期における必要に応じた、きめ細かい指導を行ってきた。また、海外での資料調査を奨励し、内外の優れた研究者と接する機会を多く作ってきた。今回の計画は、これらの工夫を明文化・制度化することにより、国際水準に挑む次世代政治学研究者育成のため、一層の組織的展開につとめるものである。すなわち、博士課程前期・後期5年間の各学期の到達目標を定め、これに応じた授業展開、論文指導、事業推進を行う。具体的には、第一に学生に多様な経験を積ませ研究者として自立する力を養うため、海外での自己研鑽や内外の一線級研究者との出会いを実現させる試みを企画実行させる「知の探求」型新授業を行う。第二に方法論を重視した体系的コースワークにより、幅広い学識と普遍的な思考枠組みを習得させ、第三に指導教員を核に複数の教員が指導および中間審査にあたり、各学期の目標を達成させていく形で論文指導を積み重ねる。第四に、博士候補制を導入し、博士論文執筆を効果的に進めさせるとともに、適切な緊張感の下、学生同士が「協調と競争」を積み重ね、切磋琢磨できる環境を実現する。</p>			
<p>学生は、これらの事業推進を通じ国際水準に挑戦すること、また新カリキュラムの実施により専門知識および研究能力を段階的に修得することが可能となり、最終的には、円滑な学位授与プロセスを実現できる。その実効性をさらに高めるために、厳格な成績管理、学生指導内容の相互点検、学位授与プロセスの透明性確保、既の実施している授業相互参観の継続、自己評価の継続などを併せて進めていく。本計画は、広い視野と深い学識、高度の研究教育能力をもつ次世代政治学研究者の養成という本来目的に加え、将来的にいくつかの方向で発展する可能性をもつ。第一に一定の規模の教員組織で研究者育成を行うための工夫を盛り込んでおり、政治学研究者が諸大学・部局に分散しがちなわが国において政治学教育の先導的存在となりうる。第二に高度職業専門人など知識基盤社会を支えるための、今後の大学院教育改革への大いなる刺激となりうる。</p>			

6. 履修プロセスの概念図



機 関 名	神戸大学	整理番号	a018
<p data-bbox="165 199 588 230">< 審査結果の概要及び採択理由 ></p> <p data-bbox="165 295 1428 472">「魅力ある大学院教育」イニシアティブは、現代社会の新たなニーズに応えられる創造性豊かな若手研究者の養成機能の強化を図るため、大学院における意欲的かつ独創的な研究者養成に関する教育取組に対し重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化（教育の課程の組織的な展開の強化）を推進することを目的としています。</p> <p data-bbox="189 490 491 521">本事業の趣旨に照らし、</p> <p data-bbox="189 535 1428 613">①大学院教育の実質化のための具体的な教育取組の方策が確立又は今後展開されることが期待できるものとなっているか</p> <p data-bbox="189 629 1225 660">②意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画となっているか</p> <p data-bbox="165 678 1428 855">の2つの視点に基づき審査を行った結果、当該教育プログラムに係る所見は、大学院教育の実質化のための各項目の方策が非常に優れており、十分期待できるとともに、教育プログラムが事業の趣旨に適合しており、その実現性、一定の成果と今後の展開の面も期待できると判断され、採択となりました。</p> <p data-bbox="189 871 1206 902">なお、特に優れた点、改善を要する点等については、以下の点があげられます。</p> <p data-bbox="177 967 633 999">〔特に優れた点、改善を要する点等〕</p> <ul data-bbox="172 1014 1428 1332" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="172 1014 1428 1191">・専攻の目的である次世代政治学研究者の養成に即した博士学位の取得に至るまでの一貫した意欲的な教育課程が編成されている。また、研究者に必要な独創的能力の育成の面でも十分配慮されており、極めて優れた取組である。特に、コースワークに加えて「知の探求」型教育を明示的に組み込んだことは高く評価できる。 <li data-bbox="172 1207 1428 1332">・また、修士課程のうちから海外資料調査等を積極的に行わせ、第一次史料に直接アクセスさせることは、極めて適切で重要な指導方針である。さらに、大学から学生の論文執筆について、組織的制度的支援が推進されている点も高く評価できる。 			